

12月、紅葉がまだ盛り中の師走。

落ち葉集めに、自然の恩物ドングリや松ぼっくりを拾っている子どもたち。まだまだ秋を満喫中です。

先月、地域の魚屋さんが見えて子どもたちの目の前で魚をさばいてくれました。大きな魚、サケを食べたことはあるけれどその大きさに驚き、包丁さばきやお腹の中からの卵(いくら)にもびっくりしていました。

子どもたちは、この体験から様々な事を見て学びます。魚屋さんという仕事、道具、生と死、料理する人、食べる人、さけの重さ、たくさんの気づきがあり、関わりがあることを知りそれを感じて味わって食べる「石狩汁」の味は格別でしょう。



